

一般質問通告順序表

No.1 (令和元年9月5日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	濱田 尚	市長 教育長	<p>1. 河川の災害対策について 鹿児島県本土は、6月28日から7月4日にかけて記録的な大雨に見舞われ、本市も大里川の決壊や農業被害など多くの災害が発生した。 (1) 被災の状況と災害に至った経緯をどのように検証したか。 (2) 本市に設置してある雨量計や水位計は災害対策に活かされたか。また、氾濫危険水位の設定などの改善が必要と考えるがどうか。 (3) 氾濫などが懸念される大里川や八房川の水害対策はどのように考えているか。 (4) 河川流域に近い避難所の機能は十分か、また、避難情報等の伝達の在り方はどうか。</p> <p>2. 道路行政について (1) 国道3号バイパス（市来湊町）の延伸が見込まれない現状であれば、離合が困難な市来農芸高校校舎東側を通る市道の拡幅を検討すべきではないか。 (2) 市道市来港線の旧吹上浜荘前のカーブは以前から危険であると指摘されている。現在は吹上浜荘も解体され更地となり建設の準備中であるが、建物の位置や道路の形状、横断歩道の位置、街路樹の在り方など、この際しっかり交通安全対策を検討すべきではないか。</p> <p>3. 高齢ドライバーの安全対策について 高齢ドライバーによる事故が全国で多発している。ひとたび事故が起これば、加害者・被害者双方に大きなダメージが残る。市民の安全で安心な生活を確保するために、市の取組として「安全運転技能講習の開催」や「ペダル踏み間違い事故を防ぐ安全運転支援装置購入への補助」をしてはどうか。</p> <p>4. 伝統芸能の保存について 国指定重要無形文化財として、400年の歴史を誇る市来の七夕踊が来年の奉納で一定の区切りとして、当面の間休止すると聞く。 (1) 保存会関係者や市民の反応はどうか。 (2) 七夕踊が継続や復活できるように、作り物や笠などの保存や、今後の支援をどのように考えているか。</p>
2	西別府 治	市長 教育長	<p>1. 小規模校存続について (1) 小規模校の児童数等の現状について伺う。 (2) 特認校制度の趣旨と目的と考え方について伺う。 (3) 地域コミュニティが維持できる集落運営について伺う。</p> <p>2. 家庭・地域の教育力向上について (1) コミュニティ・スクールの現状について伺う。 (2) ライフスタイルの変化（共働き世帯の増加等）に伴う放課後児童クラブの運営の在り方について伺う。 (3) 子育て世代の女性社会進出や核家族化に伴う行政としての環境整備について伺う。</p>

3	中村 敏彦	市長 教育長	<p>1. 空き家対策について</p> <p>(1) 令和元年以降、空き家が急激に増えるとの調査報告があるが、本市の空き家総数および危険廃屋等の現状と見通しについて伺う。</p> <p>(2) 平成 29 年度に設置された「空き家等対策協議会」の設置目的にある 5 項目（特定空家への立入調査など）について、取組内容及び成果を伺う。</p> <p>2. 市職員の働き方について</p> <p>(1) 平成 28 年度の厚労省・ブラック企業リスト（長時間労働や賃金不払い、安全管理など）に、はじめて自治体がランクインし、その後、自治体のブラック状態が問題視されてきたが、本市にそのような実態はないか。</p> <p>(2) 正規職員と非正規職員（嘱託・パート等）の職員数及び比率について伺う。また、他市との比較において非正規職員の比率はどのようか。</p> <p>3. 2020 年国体に向けた環境整備について</p> <p>(1) 国・県・市道の植栽帯の除草や環境の整備について伺う。また、旧国民宿舎の看板など市内全域の地名表示や看板等の点検も早急に行うべきではないか。</p> <p>(2) 総合運動公園付近に市内事業所等の看板設置を勧め、広告収入を見込むなど、市有地の有効活用を計る考えはないか。</p> <p>4. ころばん体操と医療費削減について</p> <p>(1) ころばん体操の登録者数と参加者数の推移はどのようか。</p> <p>(2) 医療費削減への効果はどのようか。</p>
4	原口 政敏	市長 教育長	<p>1. 大里川の拡幅について</p> <p>大里川拡幅の早期完成を県に要望できないか伺う。</p> <p>2. 国民宿舎跡地について</p> <p>取り壊しは終わったが、今後の計画について伺う。</p> <p>3. S I B について</p> <p>官民連携の仕組みの一つで、行政や民間事業者及び資金提供者等が連携して社会課題の解決を目指す成果志向の取り組みである S I B（ソーシャル・インパクト・ボンド）を本市のころばん体操に取り入れる考えはないか伺う。</p> <p>4. 児童等の虐待について</p> <p>(1) 本市の虐待を受けた子どもたちのその後の経過について伺う。</p> <p>(2) 今後の対策をどのように考えているか伺う。</p> <p>5. 中学生の英語力向上について</p> <p>(1) 鹿児島県の中学生の英語の成績は全国平均以下と聞くが、本市はどのようか伺う。</p> <p>(2) 本市としてどのような対策を考えているか伺う。</p>

一般質問通告順序表

No.2 (令和元年9月6日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	松崎 幹夫	市長 教育長	<p>1. 防犯カメラの設置について (1) 市民の安心・安全のために防犯カメラの設置の必要性が高まっているが、設置の計画は無いのか。大原交差点やドリームキャノピーからロータリー付近、市来農芸高校前などに設置が必要と考えるがいかがか。 (2) 全国で「あおり運転」が発生し、ドライブレコーダーの必要性、重要性が認識されつつある。ドライブレコーダー設置に対する補助を、本市が先駆けで行ってみたいかどうか。</p> <p>2. 中学校部活動の現状と課題について (1) 市内の5つの公立中学校の部活動の状況は、全体で幾つの部活動があって、何人の生徒が所属しているか。全校生徒に対する部活動加入割合はどのようか。年々加入率が落ちてきているのではないか。 (2) 部員が少なく思うような活動が出来ない部も多くある。総合体育館や多目的グラウンド等に部員の少ない競技の部を集めて、5中学校合同での練習をすることはできないか。少子化の時代、このような対策も必要ではないか。</p> <p>3. 郷土芸能について (1) 高齢化や人口減少に伴い、郷土芸能の保存・存続が非常に難しくなっている。今回、国指定の「七夕踊り」が来年度で休止すると聞くが、市としての考えを伺う。 (2) 今後のことを考えるなら、郷土芸能保存会の団体が一堂に会し、郷土芸能について協議・検討すべきではないか。</p>
2	中里 純人	市長 教育長	<p>1. ネット依存と SNS の活用について (1) 小・中学生のネット利用の実態と対応について伺う。 (2) 乳幼児のスマホ依存について伺う。 (3) シニア世代の SNS の利活用について伺う。</p> <p>2. 水産業について (1) 本市水産業の現状について伺う。 (2) 施策の効果、並びに成果と課題について伺う。 (3) 漁協合併について伺う。</p>
3	東 育代	市長 教育長	<p>1. 子育て世代の包括的な拠点づくりについて 幼稚園、保育所の無償化により、働く女性の社会進出が進んでいるが、子育て世代の抱える課題は多く、子育て環境は未整備である。支援やサービスの提供はあるものの少子化は加速していく。 (1) 子育て支援センターの現状と課題について伺う。 (2) 既存の子育て支援サービスの現状と課題について伺う。 (3) 子育て世代の包括的な拠点施設の整備について伺う。</p> <p>2. 本市開催の鹿児島国体について (1) 総合体育館は、高速道路のインターから近く利便性が高い事から車の乗り入れが多いと想定される。しかし一方では、生活道路としても使われている。駐車場や周辺環境整備はどうか。 (2) 本市には、宿泊施設が少なく、商店街へは遠い。市外からの来訪者を商店街へ導き巡回してもらう事が経済の活性化に繋がると思う。経済活動の振興に向けた取り組みについて伺う。</p>

4	江口 祥子	市長	<p>1. HTLV-1 感染者等への助成について</p> <p>(1) 本市におけるHTLV-1の感染の状況について伺う。</p> <p>(2) 鹿児島県がHTLV-1 根絶の施策としてキャリアの母親への粉ミルク補助を実施しているが、本市においても上乗せ補助を実施する考えはないか伺う。</p> <p>(3) HTLV-1 以外にも母親が病気等により患し、母乳を与えられない乳児や多胎児などへの粉ミルクの補助はできないか伺う。</p> <p>2. 不妊症治療への助成について</p> <p>(1) 鹿児島県は特定不妊治療への補助を行っているが、本市においても上乗せ補助を実施する考えはないか伺う。</p> <p>(2) 本市においても一般不妊治療へ補助を実施する考えはないか伺う。</p>
---	-------	----	---

一般質問通告順序表

No.3 (令和元年9月9日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	吉留 良三	市長 教育長	<p>1. 地場産業振興策について 「地方創生」が叫ばれ、企業誘致や産業振興など様々対策が行われても一向に地域経済浮揚・雇用増に結びつかない。市内の主力である零細企業を含めた振興策を市民一体となって策定して、今日の状況を打破する条例の制定について伺う。</p> <p>2. 幼児教育・保育について 複雑高度化する幼児教育・保育のあり方について伺う。</p>
2	田中 和矢	市長 教育長	<p>1. 五反田川の寄り州整備について 昭和46年の氾濫・洪水から約50年、各地で被害が発生、気候の亜熱帯化で降雨に関してもゲリラ豪雨化している。寄り州に草木が茂り、川床もかなり上がっている。7月3日の大里川氾濫時は、満潮とも重なり、あと20cmで堤防を超える危険な状態であった。 (1) 五反田川橋周辺の草木の繁茂が改善されない理由は何なのか。 (2) 自然環境保護も大事だが、「人命尊重」を最優先すべきではないか。 (3) 本来の流水能力が低下している。川床等の整備を早急に実施すべきではないか。</p> <p>2. 平江地区の道路舗装と側溝整備について 都市計画等の難しい平江地区の狭い道路の改良について伺う。 (1) 路面の舗装と側溝を整備、改良し、車の離合と歩行者が歩きやすくする考えはないか。 (2) 離合場所に要る土地の提供や理解ある地主との話し合いを積極的にやるべきではないか。</p> <p>3. ドリームセンター（中央交流センター）の雨漏りの修理について 鉄筋の腐食・膨張によるコンクリートのひび割れで、多くの箇所に雨漏りが発生している。来年4月の指定管理者への引き渡しまでに十分な改善をしてもらいたい、いかがか。</p> <p>4. 道路の冠水対策について 大雨の度に冠水する道路の側溝排水穴が小さいのではないかと、排水量を高めるため、金属製の大きな排水溝「グレーチング」に取り替え、対処する方法はいかがか。</p> <p>5. 避難指示について 災害時の避難指示が市全体に一般的な指示では、実効性、効率的なものではない。危険性の高い場所のポイントを絞り込んで的確な調査を平常時にしておく方がいいのではないかと。</p> <p>6. 生福小学童保育の進展状況について 8月に実施されたアンケート調査の結果や今後の方針、見通しについて伺う。 (1) 前回質問時に「地元の意見を聞いてから」との回答だったが、この件での「地元」とは何を指すのか。 (2) 子育てに困り、心配している父母の意見こそが最も尊重されるべきだが、いかがか。</p>

3	大六野 一美	市長	<p>1. 農業政策について (1) 荒廃地が増える一方、何か良策はないか伺う。 (2) 新規就農者に対するフォローのあり方とプロの職員の育成について伺う。 (3) 本市主要農産物の育成と販売戦略について伺う。</p> <p>2. 経営改革課について (1) 設置の必要性と目的について伺う。 (2) 現段階の具体的取組と今後の改革計画について伺う。</p> <p>3. 職員の服務規律等について (1) 不祥事再発防止の対策について伺う。 (2) 民間での研修の必要性について伺う。</p>
4	竹之内 勉	市長 教育長	<p>1. 第2期総合戦略に向けて (1) 人口ビジョンの視点から1期目をどう評価するか。 ①若い世代の転入促進と出生数の増加について伺う。 ②雇用促進とUターン促進について伺う。 ③ベッドタウンとしての定住促進について伺う。 (2) 2期目に向けた基本的な考え方について ①基本的な方向性について伺う。 ②行財政改革との関連について伺う。</p> <p>2. 乳幼児期を含めた「眠育」の取組について 眠りの役割が青少年の成長に大きく影響し、眠育という考え方が広まっている。「2歳児問題」「不登校問題」を含め、本市でも取り組んではどうか。</p>
5	福田 清宏	市長	<p>1. 在宅福祉アドバイザーの委嘱について 市長が委嘱する在宅福祉アドバイザーの現況は、6月定例会における私の一般質問に対する市長の答弁によると、市内143自治公民館のうち、地区女性連からの推薦は63自治公民館で165名、地区女性連がない地区のうち、自治公民館長からの推薦は44自治公民館で91名、設置されていない（推薦依頼のない）自治公民館が36自治公民館である。 設置されていない（推薦依頼のない）36自治公民館に対して、在宅福祉アドバイザー設置要綱（委嘱）第3条に基づき、速やかに委嘱されたか伺う。</p> <p>2. 交流センターについて (1) 6月定例会補正予算において、ドリームセンターの8月以降の指定管理委託料245万円が減額され、新規に、中央交流センター管理経費140万2千円が直営にすることに伴う費用として計上された。 直営の状況と今後の取り組みについて、伺う。 (2) 交流センターの指定管理委託料の差異について伺う。</p> <p>3. 野平地区の基盤整備について 当該地区の土地区画整理事業の中止を決定されて以来、どのような基盤整備事業を策定されているか伺う。</p> <p>4. 投票所終了時間について 投票所の終了時間は、守られているか伺う。</p>